

2013 年度

ハピネス五戸 事業計画

「その人らしく最後まで輝き続ける支援を！」



～家族からの大切な贈り物～

2013 ハピネス五戸事業計画

2013 年度ハピネス五戸・コスモス・ルピナス事業計画目次

1	ハピネス五戸施設長	P1～6
2	特別養護老人ホームハピネス五戸	
	入所系マネージャー兼生活相談員	P7～8
	生活援助員部門	P9
	・Aユニット	P10
	・Bユニット	P11
	・Cユニット	P12
	医務看護部門	P13
	機能訓練部門	P14～15
	食事サービス（栄養士）部門	P16～17
	食事サービス（厨房）部門	P18
3	短期入所生活介護ハピネス五戸	P19～20
4	認知症対応型共同生活介護ハピネス五戸	P21
5	ケアステーションハピネス五戸（居宅）	P22～23
6	ケアステーションハピネス五戸（訪問介護）	P24～25
7	訪問入浴介護ハピネス五戸	P26
8	通所介護ハピネス五戸	
	一般型通所介護部門	P27
	認知症対応型通所介護部門	P28
9	通所介護コスモス	P29～30
10	通所介護ルピナス	P31
11	在宅介護支援事業	P32～33
12	事務部門	P34～35
13	防災計画	P36
14	各種会議	P37～38
15	委員会活動	P39～40
16	行事計画	P41
17	研修会スケジュール	P42

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	ハピネス五戸		
作成者	部署名		役職名
	氏名	立花則夫	
年度目標 テーマ	その人らしく最後まで輝き続ける支援を！		
<p>1 施設長方針</p> <p>2013 年度、ハピネス五戸は個室ユニットケアに移行します。「笑って元気、笑顔で支援」笑顔の絶えない施設で、その人らしく最後まで輝き続ける支援を行っていきます。</p> <p>2 2012 年度の分析・評価からの方針</p> <p>今年度は、第5期介護保険制度が「地域包括ケア」定期巡回、随時対応サービスを目玉に据えてスタートしましたが、特養ホーム、DSは、いずれも単価の切り下げにより収入が減額となる可能性を含む、経営環境が大きく変わった中での出発でした。</p> <p>特養ホームでは、従来型個室、多床室共に単価が下がったことによりこれまで通りの稼働率では百万単位の減額となる見込みでしたが、加算（看護体制Ⅱ、個別機能訓練、看取り介護、経口移行、経口維持（Ⅰ、Ⅱ）口腔維持管理）を取得することで1人当たりの事業活動収入の改善を図ったことにより収入の悪化を防ぐことができました。</p> <p>DSでは、先ず五戸においてサービス提供時間を7-9と5-7を混在することで単価の切り下げによる影響を最小限に食い止め、利用時間に幅を持たせることで利用する方の要望に応えることにしました。3月から準備を重ね4月のスタートから新単価に移行することができました。また、コスモス、ルピナスにおいても五戸に合わせて送迎等の工夫により7-9を実施して行きました。これにより稼働率と営業収益共に向上させることができました。</p> <p>また、ホームにおいて昨年一昨年と夏場に続いた熱発による入院者の増加について、今年度は医療部門を独立体制とし機能的に働きができるようにしてきました。看護、介護、そして専門職の連携を強めた対応により、熱発による入院者を最小限に食い止めることができました。更に冬場のインフルエンザ、ノロウィルス、そして疥癬の感染症は1、2名の罹患者はあっても、集団で発症することはありませんでした。介護職員の成長と、看護スタッフ、専門職の連携の成果だと思っております。</p> <p>今年度は、「チャレンジ」を目標に行動してきました。新しい試みへ自分が変わることワクワクしながら、挑戦を楽しみましょうと言って、学習療法へ取り組み、ホーム、DS全てで取り組みました。当初17名のスタートでしたが、現在は21名が学習療法に取り組んでいます。看取りについては3名の方が看取り中でしたが、12月1</p>			

名の方を看取らせて頂きました。また、口腔リハビリは6月のデモ診療後、8月の診療開始より、毎月8名の方を診療していただき経口移行加算3名、経口維持加算（Ⅰ）3名、経口維持加算（Ⅱ）1名の加算を取得してきています。診療にあたってくださる須田先生から、職員へ考えられる解決策を提案するよう、職員への質問・クイズが出るなど、「職員の経験・知識もついてきたので、これからも職員と一緒に考えていき、スキルアップもしていきましょう」と総括されていました。

地域貢献事業では、「認知症を笑って生きる」—演劇と町民の集い—を実施しました。これは町の公民館を使用して初めての試みでした。岩手県の大船渡市から「気仙ボケー座」の方をお招きしての演劇と、町内5事業所が参加しての意見交換会を行いました。約350人の町民の方が詰めかけの中で大いに盛り上がったの大会となりました。ハピネス五戸の新しい取り組みとして、「ハピネスは五戸と共にある」を実感することのできたオープン講座でした。

その他に特筆すべきこととして、ホームで看取り介護として対応させていただいた方々の、目を見張る回復力についてです。今年度3名の方を看取り対応させていただいてきましたが、看護と、介護そして専門職が連携を持って対応を行ううちに、意識障害の改善、表情の回復、意志疎通能力の改善が図れ、ついには、経管栄養を外し、経口摂取に移行したケースを経験しました。今では自力摂取となり、自分の手で嬉しそうに食事を口に運ぶ光景は最高の感動を与えてくれました。

特養は終の棲家として、生活の場として利用していただくことを目標としています。加えて、私達は最後まで輝き続ける支援を追求していきたいと考えています。

この目標を達成するために重点事項を掲げて実現を目指します。

(1) ユニット移行

今年ホームは増改築によってユニットケアに移行します。移行にあたっては利用されている方々、ご家族の皆さん方の意向・希望を十分にお聞きし、満足いただける移行を実現します。その中では家庭的雰囲気の中で、その人らしく最後まで輝きつづける支援を目指します。

(2) 利用される皆様の快適・安全のために

① 学習療法・口腔リハビリ・見取り介護の実践

昨年度開始したこれらの取り組みを、快適にそして安全に生活していただくためのツールとして更なる充実を目指します。

② 多職種連携の強化

職員間の連携によって生まれた成果を更に発展・充実させて利用される皆様の生

活向上を図っていきます。

(3) 地域貢献事業の推進

① オープン講座の実施

昨年実施したハピネス五戸地域貢献事業としてのオープン講座を、今年度もハピネス五戸が日頃事業展開の中で得たものを地域の方々にお返しするという考えのもと実施します。

② ヘルパー講習の実施

- ・ 青森県母子寡婦連合会
青森県母子寡婦連合会主催の「介護職員初任者研修」の依頼を受けて今年度も実施します。
- ・ 五戸町在住者
町民の方を対象に町内事業所の人たちを講師に行ったヘルパー養成講座を今年度は「介護職員初任者研修」として実施します。

③ 出前講座

居宅を中心に行ってきた町民の方を対象にした介護保険、健康相談、感染症予防についてのミニ出前講座を今年も実施します。

(4) 安定した施設経営を目指します

経営の安定があって私たちの活動は幅を持ちます。実績 96.7%以上の稼働率と経常収支差額 23%のバランスを保った施設の運営を目指します。

3 各事業の方針

(1) 特別養護老人ホーム

- ・ ユニットケアに移行し、最後まで輝き続けるケアを提供します。
- ・ 感染症と熱発による入院増を防ぐため多職種連携で対応することと、入所希望者へ臨機応変の取り組みをすることによって、稼働率在籍 100%、実績 96.7%を目指します。
- ・ 判定会議の見直しや、嘱託医との調整によって空き日数の縮小を図ります。
- ・ 介護職と看護の連携による医療行為を速やかに実施します。
- ・ 見取り介護の更なる充実を図ります。

(2) ショートステイ

リピーターの方やご家族の方に喜んで安心してご利用いただけるようサービスの

質の向上に努めます。

- ・ マニュアル化した受け入れ時の対応によって、感染症の発症防止に努めます。
- ・ 他居宅事業所との連携を日頃から取り、100%の稼働率を目指します。

(3) グループホーム

- ・ 設備の見直し等によって利用者の重度化に対応できるようにします。
- ・ 稼働率 98%を目指します。

(4) デイサービス

① ハピネス五戸

- ・ 利用者ニーズに合わせて、早朝利用、延長利用、夕食の提供等のサービスをして顧客満足度の向上を図ります。
- ・ ユニット棟の増設により発生する空きスペースを使い、指導するボランティアの協力を得てアクティビティの内容充実を図ります。
- ・ 稼働率は1日当たり 31 人、認知症型 9 人を目指します。

② コスモス

- ・ 地域行事への参加、交流を更に進めて地域との関わりを広めて、住み慣れた地域で楽しく暮らし続けられるよう、支援していきます。
- ・ 稼働率は1日当たり 26 人を目指します。

③ ルピナス

- ・ 家庭的でくつろげる空間を持った福祉施設として、地域への行事への参加、交流を更に進めて地域の核を目ざします。
- ・ 利用者のニーズに添ったアクティビティを取り入れ顧客満足度を高めていきます。
- ・ 稼働率は1日当たり 21 人を目指します。

(5) 居宅介護支援

- ・ 自立支援型のケアマネジメントを推進するため、質の高いアセスメントを目標として高齢者が地域で安心して生活できるよう支援します。
- ・ 相談受付窓口機能を生かし、利用者の発掘に努めます。
稼働率 95%を目指します。

(6) 訪問介護

- ・ 安心して在宅生活が続けられるサービスを提供します。
- ・ 介護技術の向上と均一化を図ります。
- ・ 待機時間の短縮を図ります。
- ・ 稼働率は90%を目指します。

(7) 訪問入浴

- ・ 毎日のサービス提供を目指します。
- ・ 障害者の利用を進めます。

(8) 在宅介護支援事業

- ・ 在宅の高齢者が安心して生活できるよう見守り、支援をしていきます。
- ・ 配食は適温配食に努めます。
- ・ 高齢者訪問事業、転倒骨折予防教室は楽しく為になるをモットーに事業展開を図ります。

4 組織作り

理事長の「DSに権限を」という方針に沿って在宅Mが予算と人事管理を行う体制とします。また、医療部門に機能訓練Lを置きその下に各DS機能訓練職員を配して指導相談体制を整備します。栄養士を事務Mの下に配して栄養業務の他に事務の一部と快適・安全生活に積極的に関わることにします。

5 職員教育・職員資格取得支援について

- ・ ケアマネージャー、介護福祉士の資格取得について支援体制を整備、構築して支援に当たります。

6 各事業の加算項目についての方向性

- ・ 各事業においては各加算項目を取得することが、利用者へのサービスの向上となると考えています。
- ・ 加算項目サービスの実施に積極的に挑戦していきます。

7 コンプライアンスへの取り組み

- ・ 毎月のリーダー会議において各法令順守ができているか確認します。
施設長連携会議で情報確認等を行います。

8 第三者委員の件について

- ・ 提供するサービスについて利用者からのご意見、ご要望あるいは苦情を解決するために第三者の立場にある「第三者委員」を設置します。
- ・ 「第三者委員」は、受付担当者や責任者との話し合いだけでは納得いかない場合に、話し合いに立ち合い必要な助言をします。

9 地域との関わり方

- ・ ボランティアの受け入れは、町内小、中、高校生そして日赤奉仕団、町内連合婦人会、天理教青年会等から定期的、そして随時受け入れてきましたが、これは今後も積極的に受け入れていきます。
- ・ 地元川原町町内会との交流は定期的に行うとともに、災害協力隊活動を引き続きお願いしていきます。

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸																																																																									
作成者	部署名	特別養護老人ホーム	役職名	入所系マネージャー兼生活相談員																																																																						
	氏名	角濱 圭子																																																																								
年度目標 テーマ	住み慣れた地域の中で自分らしい生活を																																																																									
<p>五戸町では地域密着型施設の3ヶ所の建設が予定されています。地域密着ではない広域の方が入所できる施設としての役割を再認識し、口腔リハビリや学習療法、看取り介護などの特色を活かし近隣地域から安心して生活できる「第二の家」として選ばれる施設を目指します。</p> <p>今年度、ユニット型特養への増・改築に向けて昨年度から取り組んでいる「従来型の中にもユニットケアを」を継続し、入居者の望む生活へできるだけ近づけ施設生活での満足度を上げられるよう、ユニットリーダーや居室担当を中心に取り組んでいきます。ユニットに向けての研修も、経験年数や職員スキルに合わせて生活援助員リーダーとユニットリーダーを中心に組んでいきます。</p> <p>1. 稼働率目標</p> <p>今年度の目標稼働率96.7%として取り組んでいきます。</p> <p>入退居者の動向（平成25年2月末） （単位：人）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入居</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>退居</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>昨年度は入院中の永眠が多数を占めており、看取りの方は1名のみでした。今年度は看取り介護を今以上に周知を行い、最後まで入居者が望む生活を施設で送れるように取り組んでいきます。また、待機者確保のため2ヶ月に1回の入所判定会議を実施し、常時5名を確保し、入居までの間隔を7～10日以内とし空床の軽減に努めます。</p> <p>2. 入居前の居住形態（平成25年2月末） （単位：人）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>自宅</th> <th>老健</th> <th>病院</th> <th>有料老人ホーム</th> <th>グループホーム</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	入居	3	2	1	1	3	1	0	1	2	1	1		16	退居	0	2	1	3	1	1	1	0	3	1			13		自宅	老健	病院	有料老人ホーム	グループホーム	計	男	1	2	0	1	0	4	女	2	4	1	3	2	12	計	3	6	1	4	2	16
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																													
入居	3	2	1	1	3	1	0	1	2	1	1		16																																																													
退居	0	2	1	3	1	1	1	0	3	1			13																																																													
	自宅	老健	病院	有料老人ホーム	グループホーム	計																																																																				
男	1	2	0	1	0	4																																																																				
女	2	4	1	3	2	12																																																																				
計	3	6	1	4	2	16																																																																				

昨年度は老人保健施設と有料老人ホームからの入居者が半数以上を占めました。

3. 医療枠入居者の受け入れ

現在は経管栄養15名（うち経鼻2名）、留置カテーテル挿入者7名、インシュリン注射実施者1名となっています。現在、経口摂取者の中にも経管栄養の予備軍となりえる方もいるため、人数を把握し、割合を確認しながら安全なサービス提供につなげます。

4. ボランティアの受け入れ

今年度も昨年同様、学生や地域の婦人会、奉仕団、余興者を受け入れていきます。昨年度は新たなボランティアも2団体加わり、施設の環境整備や入居者との会話をメインに来園されています。以前、入居者の住んでいた地域の方々も来園され、入居されても地域の話を知ることができています。地域とのつながりを保てるよう交流を図っていきます。また、ボランティアの方でも特技を活かせる方には、個別にクラブ活動の支援等をお願いし、入居者の余暇活動へ反映させていきたいと思っております。

5. 家族会との関わり

家族会役員との定期的な役員会を行うことで、家族会主催の行事の実施や会員によるボランティア活動を計画しています。年1回の総会を継続していきます。会員へは事務局より「お知らせ」を発行し、活動内容の周知や、家族会への理解を深めていただけるよう取り組んでいきます。ユニット移行にあたり、家族会の在り方等を役員等と検討していきます。

6. 入居者自治会

入居者の生活をより良いものとするため、さらには施設であっても制限に縛られず「望む生活」を実現するために意見を聴取し、その想いに応えられるようサポートします。定期的な役員会の開催と年1回の総会を継続していきます。

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	特別養護老人ホーム生活援助員	役職名	リーダー
	氏名	高村 英理子		
年度目標 テーマ	ユニットケアに向かって ～求められるもの「その人らしさ」～			
<p>2012年度は、従来型の中にも個別ケアの提供をする為、3ユニットに分けて入居者・ご家族に関わってきました。馴染みの関係を築くことで、体調変化の早期発見や安心感の提供を目指してきましたが、ユニット分化したものの一斉一律のケアから脱却できず、対応は従来型のままであったと感じています。</p> <p>2013年度は、ユニットケアに向け、入居者が自分の住まいと思えるような環境作りと、今までの暮らしを続けてもらえる様なケアを提供するための土台作りをしていきたいと考えます。そのために、入居者の生活習慣や好みを深く情報収集し、共有することで、その人らしい生活の継続ができるよう支援します。</p> <p>1. 食事～おいしいこと、楽しいこと～</p> <p>家での生活を考えた時、その日の活動量や体調により食欲が異なります。おいしく食べるための時間・環境・形態を考慮して提供します。また、食事に関する問題を多職種間で共有し、口腔リハビリを通じて正しく把握し対応します。おいしく食べることが継続できるよう、歯科医師等による勉強会や技術指導を継続し、個々に適切な口腔ケアを実施することで、口腔衛生を保ちます。</p> <p>2. 排泄ケア</p> <p>2012年度に引き続き、個別の排泄パターンを把握し、適切な時間・方法・物品で対応することで、快適に過ごして頂けるよう支援します。また、個人の羞恥心やプライバシーに配慮したケアを提供します。</p> <p>3. 入浴</p> <p>家では感じない恥ずかしい思いを感じずに入浴できる様、プライバシーの配慮を徹底します。また、皮膚観察を継続し、皮膚トラブルの早期発見や治癒状況の把握を徹底します。</p> <p>4. 看取り介護</p> <p>看取りに関する理解を深めると共に、ご家族や多職種と連携し、その人らしい尊厳ある穏やかな最期を迎えて頂けるよう支援します。</p>				

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	特別養護老人ホーム 生活援助	役職名	ユニットリーダー
	氏名	山崎 しず佳		
年度目標 テーマ	その人らしい生活を継続し、その人らしい最期を迎えられるように			
<p>1. 信頼関係を築く</p> <p>会話だけではなく、言葉で表現出来ない方でも表情、動作などで気持ちを汲み取れるような関係を構築していきます。様々なコミュニケーション技法を用いり、本人の内的世界を知り、より良いケアに繋げていきます。入居者が話しやすい環境作りに努めます。スタッフの認知症への理解を深め、一人ひとりの症状を把握した上でのケアを提供します。</p> <p>2. 生活環境</p> <p>今までの生活の延長線上になれるような、穏やかな最期を迎えられるようにその人らしい生活環境を作ります。自宅での環境に少しでも近づけるように、生活歴の把握、家族からの情報収集を行います。家族が面会時に落ち着いて過ごせるよう環境を整えます。</p> <p>3. 排泄</p> <p>個々の排泄パターンを把握し、希望や生活スタイルに合わせたケアを行います。定期的に尿測を行い、皮膚状態に合わせながら、回数やパットを決めていきます。不快な気持ちを与えないよう「手早く」「さりげなく」随時対応を目指します。</p> <p>4. その他</p> <p>ユニット会議を月1回開催し、個々のケアに差が出ないよう職員間での情報共有を徹底します。入居者に対するケア方法が継続され、経過を追えるよう申し送り方法もユニット内で検討します。ユニット内行事や装飾を積極的に行い、季節感のある楽しみの持てるユニットにします。</p>				

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	特別養護老人ホーム 生活援助	役職名	ユニットリーダー
	氏名	中野 和哉		
年度目標 テーマ	入居者一人ひとりが、今まで通りの生活を送って頂くために			
<p>1. 個別ケアの提供</p> <p>コミュニケーションや入所時の情報から、入居者一人ひとりの生活スタイル、生活リズムを把握し、入居後もこれまで同様の生活を継続できるように、サポートしていきます。そのために、事前の情報や毎日の関わりの中での情報から一人ひとりのニーズを明確にしていきます。</p> <p>2. 情報共有のために</p> <p>月に一度ユニット会議を開催し、業務内での問題点や改善点を提案し、解決していきます。また、毎日の関わりの中から得られた情報をユニットスタッフで途切れることなく共有できるよう、その情報を元にユニットスタッフが統一した援助ができるようにします。</p> <p>3. 入居者が安全・安楽に生活して頂くために</p> <p>ヒヤリハットをひと月30個以上を目標に業務内での小さな気づきを大切にしていきます。また、小さな気づき【ヒヤリハット】をユニット職員で共有し、大きな事故や怪我を未然に防ぎ入居者が安全・安楽に暮らせるようサポートします。</p> <p>4. 排泄用品はプライバシーを尊重したケアにする</p> <p>排泄介助時に本人や他の入居者が見た際に不快に感じないように、排泄時カートやバケツではなくトートバック等を使用し、排泄中だと感じさない自尊心を守った排泄ケアを提供します。</p> <p>5. 家族と協力し信頼関係を築く</p> <p>月に一度、居室担当でご家族へ生活状況のお知らせをします。ご家族ともコミュニケーションを図り、お互いに話しをしやすい関係づくりに努めます。</p>				

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	特別養護老人ホーム 生活援助	役職名	ユニットリーダー
	氏名	高橋 桂子		
年度目標 テーマ	個別ケアの実施と寛げる環境の整備			
<p>1. 個別ケアの提供にむけて</p> <p>『食事』…家庭的な雰囲気です食事を提供出来るようテーブルの配置、席の工夫をし楽しく食事が出来るように支援します。また、食事の準備を一緒にする事で、食欲が増し美味しいと感じる事が出来るよう支援します。</p> <p>『入浴』…ユニット毎での入浴となり、顔なじみの職員と一緒に入る事で気兼ねなく、ゆったりと入浴しその日の汗を流していただけるよう支援します。</p> <p>『排泄』…個々の排泄パターンを把握するため、定期的に尿測を実施し、その人に合ったターナ選び、交換時間、交換方法を確立し、随時の介助を行います。また、排泄委員会と共にはできるだけ下剤を使用せずに自然な排便ができるよう食事・おやつ・マッサージ等の工夫をし取り組んでいきます。</p> <p>『余暇活動』…個々の趣味活動開催と参加の援助のために、おかし作りの計画と実施を行います。</p> <p>2. 家族との関わり</p> <p>面会時はもちろんのこと、月1回はご家族へ近況報告を行います。遠方のご家族へは普段の生活の様子写真と担当からの手紙を送り、施設での生活の様子を解りやすく伝えます。また、今後も面会時など情報収集の機会を持ち続け、現在よりも本人の望む生活に少しでも近づけるよう支援していきます。</p> <p>3. ユニット会議</p> <p>月に1回会議をおこない、入居者の情報の共有をしてケアの統一を図ります。毎月目標を掲げ業務に取り組みます。達成した目標は継続して取り組み達成できなかった目標については反省点を挙げ、次月も取り組み、ケアの質の向上に繋げていきたいと思ひます。</p>				

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	特別養護老人ホーム 医務看護	役職名	看護リーダー
	氏名	西塚 三枝子		
年度目標 テーマ	入居者一人ひとりが健康で快適に過ごし、やすらかな最期を迎えるために			
<p>1. 日常の健康管理、心身の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身機能の低下予防、異常時の早期発見、早期対応に努めます。医療機関との連携を図り、必要に応じ健康保持のための適切な処置を行います。 ・日常生活の基本となる「食事」「排泄」「睡眠」を円滑に整えるため、各ユニットスタッフと情報交換を行い、個々の状態を把握し支援方法を工夫します。 <p>2. やすらかな最期を迎えるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取りに対する情報提供・研修会を行います。 ・人生の最期をどのように迎えたいのかを、本人・家族からの希望の聴取を状態の変化時は確認します。 ・自然な姿で看取り介護が行えるよう、生活上のケアのポイント等の研修会を行います。 ・家族との連絡を密に行っていきます。 <p>3. 感染症の予防</p> <p>感染予防のための「衛生管理」「衛生教育」を徹底し、予防に努めます。発症した場合も考慮し、医療機関との連携を迅速に図り、施設内での蔓延を防止します。</p>				

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	特別養護老人ホーム 機能訓練	役職名	機能訓練指導員
	氏名	中野渡 恵理		
年度目標 テーマ	快適な生活と安全なケアの提供			
<p>入居者個々の個性性を配慮・尊重し、快適な生活が送れるよう、機能訓練と環境整備を行います。特に、改築とユニット化により入居者・職員ともにソフト面・ハード面の変更に伴う事故が懸念されるため、危険予測の観点から注意喚起を行うと同時に、ケアの安全性の向上と入居者の快適が尊重できるよう、福祉用具の導入を推進したいと思います。</p> <p>1. 個別機能訓練</p> <p>個々の性格、機能、生活能力、認知機能を定期的に評価し、個性ある機能訓練計画を立案し実施します。入居者個々の訴えや意向、職員の気付き・迷い・不安への対応を迅速に行い、入居者・職員の安心・安全を支援します。カンファレンスやモニタリングを通して、リハビリの視点での評価・問題点を説明し、より良いケア方法を目指します。</p> <p>また、短期入所者からのニーズも増加してきており、特に長期間ご利用の方が短期入所中に機能低下をきたさないよう、生活リハビリの助言を積極的に行います。</p> <p>2. 福祉用具の導入</p> <p>昨年度に引き続き、車椅子や介助補助具の検討・導入、使用方法の指導を実施し、安全なケアへと繋げていきたいと思っています。特に、改築に伴いリフト、食事用テーブル、個浴などは導入の必要性が高いと考えます。適宜、用具の比較・デモ等を活用しながら導入を進め、導入後は正しく使用できるようフォローしていきたいと思っています。</p> <p>3. 個人用車椅子の導入推進</p> <p>身体障害者手帳を利用した個人用車椅子の導入を引き続き推進し、個々の身体機能に適合した車椅子を作成することを援助し、安定性・快適性の向上を図ります。また、給付に際して必要な意見書作成のための情報提供や、身体障害者調査書の作成を行い、円滑に給付できるよう、家族・医療機関との連携を図ります。</p> <p>4. 摂食機能維持</p> <p>口腔リハビリ、口腔機能維持と協働し、入居者の食べる楽しみ・喜びをより長く安全に維持できるよう、生活リハビリと個別機能訓練の併用により支援します。また、口腔</p>				

リハビリに付随し、拭き戻しやブローイング、舌訓練により、呼吸機能にも改善が見えつつあります。今後は、委員会と協議の上、アウトカムを設定して取り組みの成果を追跡し、科学的根拠に基づく摂食機能支援の実績作りを行いたいと思います。

5. 事故の軽減

職員の負傷・腰痛や、利用者の転倒等が度々みられています。事故・ヒヤリハットの原因は、個人因子・環境因子・手順の問題等様々ですが、受診・治療が必要となるような事例については軽減のための対策が必要です。事故軽減に向けて、事故防止委員会と協力し、日常生活や施設環境に潜む危険予測の指導や、援助技術の確認・指導を行います。また、事故事案に結びつく前に環境面の対策ができるよう、助言していくことで、予防処置が円滑にできるようにしたいと思います。

6. 状態確認への協力

昨年度は、骨折により入院した入居者の状態確認へ行くことで、入院期間の短縮が図れた事案がありました。今後も看護・相談員と協力し、入院者や入所希望者の状態確認への同行により、医療・機能部分の情報を正しく収集し、安定した施設運営を支えたいと思います。

7. 知識・技術の向上

自己研鑽・施設ケアの質の向上のため、外部研修に積極的に参加すると同時に、他法人他施設の同業者との情報交換を積極的に行いたいと思います。また、同法人内の機能訓練指導員間の合同研修・部会活動の立ち上げに向けて準備し、共同発表も視野に進めていきたいと思います。

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	食事サービス（栄養士）	職名	管理栄養士
	氏名	田村 優子		
年度目標 テーマ	食事（栄養）がもたらす効果を見つけよう			
<p>2013 年度は「食事（栄養）がもたらす効果を見つけよう」を目標・テーマとして、利用者にとって毎日の食事をおいしく楽しく食べられているのか？一人ひとりの食習慣に沿った提供ができているのか？どんな効果があるのか、見つけていきたいと思えます。</p> <p>(1) 直営体制 直営のメリットを活かし、利用者様の様々な意見を反映させ、満足感のある楽しい食事の提供に取り組んでいきます。</p> <p>(2) メニュー内容 ホーム、デイサービス（3ヶ所）、配食での郷土料理、行事食の提供の充実に努めます。旬（季節）に応じた食材を購入することにより、栄養、コスト、安全面での利点を活かした献立を提供していきます。また、利用者に喜んでいただけるような新メニューやユニットでの利点を活かした献立を検討していきます。</p> <p><行事食の提供> 4月：開設記念日（お弁当） 5月：端午の節句・母の日 6月：父の日 7月：七夕・土用の丑の日 8月：お盆・夏祭り（屋台） 9月：農神様の日（小豆料理）・敬老の日（お弁当）・彼岸中日（精進料理） 10月：体育の日・恵比寿様の日（赤飯） 11月：文化の日・大師様の年取り（赤飯・大根汁・漬物） 12月：恵比寿様の年取り（しとぎ）・大黒様の年取り（豆料理）山の神様の年取り（白飯・魚汁）・八幡様の年取り（赤飯）・農神様の年取り（小豆ばつと）・冬至（かぼちゃ料理）・クリスマス・忘年会・大晦日（年越しそば） 1月：おせち料理・七草がゆ・新年会 2月：節分（変わり太巻き）・建国記念の日 3月：ひな祭り・農神様の日（煮しめ）・彼岸中日（赤飯）</p>				

(3) 嗜好調査・残渣調査の実施

利用者にとって食事は大きな楽しみの一つでもあり、定期的に嗜好調査、残渣調査を行い、利用者の希望、思いに応える食事を提供できるよう努めていきます。また、今年度の目標である「食事がもたらす効果」についても聞き取りを行い一緒に効果を見つけていきます。

(4) 栄養ケアマネジメントの充実と低栄養の予防

個人の身体的特徴や性格、嗜好、栄養状態を把握し、また個人の要望を取り入れ必要栄養量を確保できるよう個別対応食に反映させ、ケア会議で評価・見直し・栄養管理を継続することで体調維持に繋げていきます。また、口腔介護リハビリを行うことでより安全に食事を楽しんでいただき、低栄養の改善にも繋げていきます。

(5) 給食会議の実施

会議での伝達、改善事項等意見交換で、より良い食事サービスに努めます。

(6) 備蓄食管理

緊急時に備えた食料対策として非常食を備蓄しています。昨年度はホーム、GH、入居者のみの備蓄でしたが、今年度は職員、デイサービスの備蓄も確保し、各部署へ備蓄食の保管場所の周知徹底をしていきます。

事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	食事サービス	役職名	厨房リーダー
	氏名	加賀 千恵子		
年度目標 テーマ	明日への活力となる食事づくり			
<p>1. 思わず食べたくなる食事の提供に向けて</p> <p>昨年度はソフト食の導入を行いました。今年度は更に口腔リハビリを通して、厨房スタッフもVE検査に参加し嚥下状態を確認し、入居者の身体に関する理解を深め、個々の身体状況に合った食事作りに反映させます。また、「見た目」「味」「香り」「食感」を踏まえ、素材の味を引き立たせるソフト食作りの研修を行い、献立を増やし提供回数を増やし、美味しく・安全な食事提供ができるよう取り組みます。</p> <p>町から委託されている配食サービスについては個々のニーズに合った食事と温かいもの・冷たいものをそのまま提供できるよう努めます。利用者の背景を考慮し、安全・安心できる食事を提供できるようサービスの質の向上に努めます。</p> <p>2. ユニット移行に伴う体制の整備</p> <p>ユニット移行に伴いスタッフの業務の見直しや生活援助員との役割の確認を行い、効率的に業務を進められるよう取り組みます。また、移行に伴うマニュアルの見直しを行い、周知徹底を行います。</p> <p>3. 厨房備品等の整備</p> <p>昨年度は定期的な修繕・購入の備品以外にも、長年使用による劣化での修繕等が目立ちました。日頃の使用頻度・状況を踏まえ、業者への問い合わせを行い業務へ支障をきたさないよう調整を図りたいと思います。</p> <p>ユニットで使用する備品についても、家庭的な備品を購入し、整備をしていきたいと思ひます。</p>				

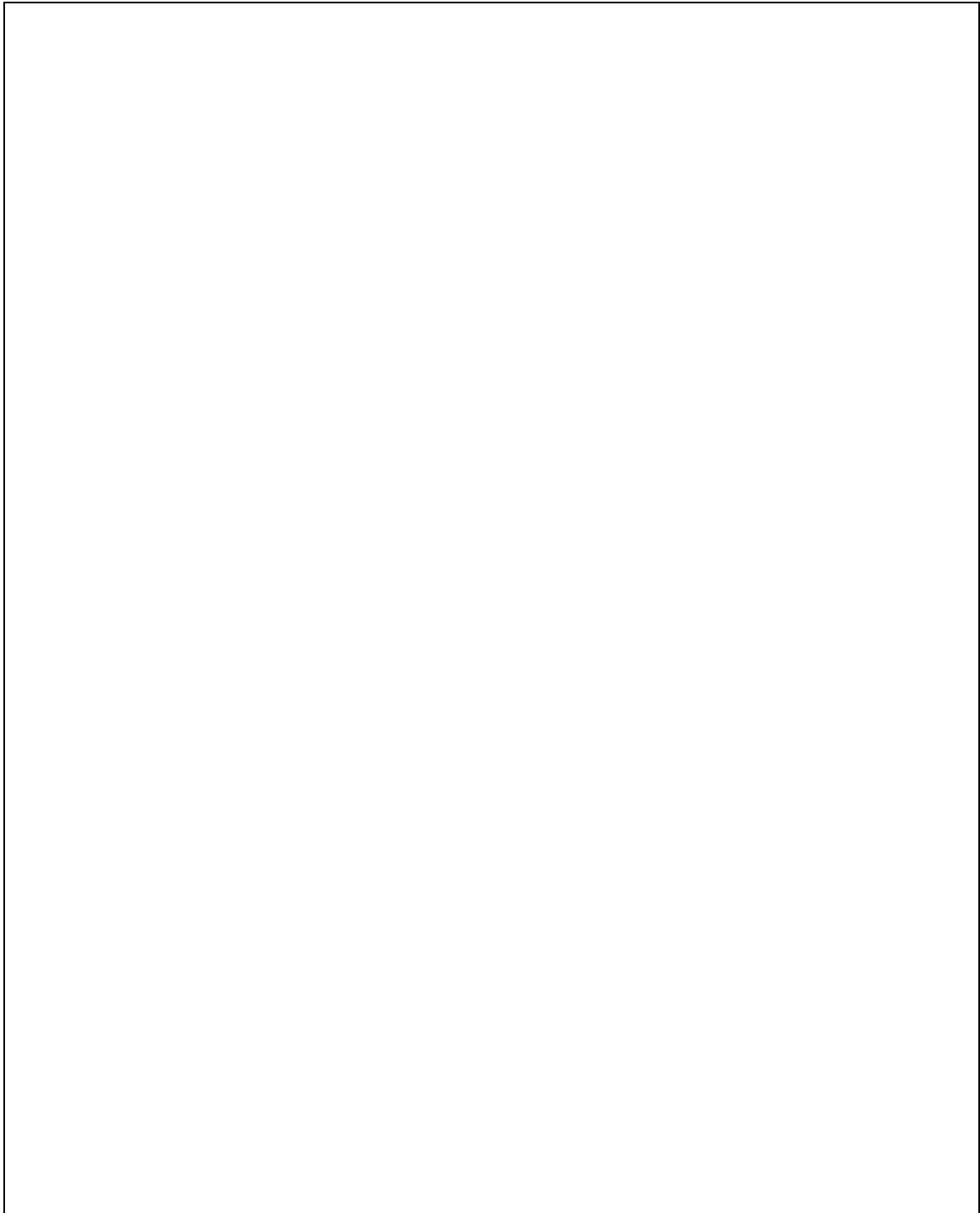
事業名	特別養護老人ホームハピネス五戸			
作成者	部署名	短期入所生活介護	役職名	生活相談員
	氏名	角濱 圭子		
年度目標 テーマ	地域・自宅で暮らし続けるために			
<p>五戸町では地域密着型特別養護老人ホームやグループホームの建設が予定されています。今年度は町内の居宅介護支援事業所だけでなく、近隣市町村の新規の居宅介護支援事業所からも利用していただけるようPRをしていきます。また、自宅での生活の延長上にある事業所として、自宅で自身が行っていることを継続し心身機能の維持・向上を目的とし、利用者・家族ともに安心できるサービス提供を目指します。</p> <p>昨年度に実施できずにいたサービス内容に関するアンケート調査を行い、窓口対応の向上や利用者へのケアの質の向上へと繋げ、リピーターや新たな利用者の獲得へ向けて取り組みたいと思います。</p> <p>1. 一人ひとりの生活を知る</p> <p>一人ひとりの個性があるように、生活パターンも十人十色です。利用者の心身状況はもちろんのこと、生活環境・医療面・趣味活動等を把握し、利用者または家族の望む生活のサポートを行います。また、定期的に利用者を取り巻く状況に変化がないか家族・介護支援専門員より確認し、最新の情報提供を行います。</p> <p>新規利用者で認知症等で環境の変化がストレスとなりそうな方へは、そのダメージを軽減できるよう居室環境や使用物品に関して、居室内配置や使い慣れているものを持参いただくよう働きかけます。</p> <p>利用者・家族へのアンケート調査を行い、業務や対応の見直しを図り、事故や苦情の軽減に努めていきます。</p> <p>2. 居宅介護支援事業所とのつながり</p> <p>現在利用いただいている居宅支援事業所はもちろんのこと、新たな居宅介護支援事業所へ伺い、利用者確保へ繋げていきます。さらに事業所内での行事・活動等を新聞等に選んでいただける事業所づくりを行います。また、特養に空床が出た場合は、その日のうちに居宅介護支援事業へ情報提供を行い、稼働率の維持に努めます。</p> <p>3. ユニット型への移行に向けて</p> <p>施設の増・改築にあたり短期入所のみユニットへと変わります。体制の整備や受け入れマニュアルの見直しを行い、移行後も混乱なく安心して利用できるよう対応します。</p>				

また、利用家族や居宅支援事業所の介護支援専門員に向けて事業所の見学をいつでも対応できるようにし、事業所のアピールポイントをPRしていきたいと思えます。

事業名	認知症対応型共同生活介護			
作成者	部署名	ハピネス五戸	役職名	リーダー
	氏名	長峯 純子		
年度目標 テーマ	One for all, all for one ～一人ひとりの幸せのために～			
<p>グループホームが開設し13年目を迎える今年度、一巡りした今、事業所として初心にかえり、利用者・職員一人ひとりの幸せを考え、達成していきます。</p> <p>1. 利用者・家族の望む生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あれがしたい」「これをしてみたい」「あそこに行きたい」と個々の希望を言う事が出来、かなえてあげられるよう、担当職員とのコミュニケーションの時間を個別に作り、関係を蜜にしていきます。 ・利用者の心身状態を理解して頂くために、家族への近況報告は写真や電話等を利用し、直接感じていただけるよう工夫をしていきます。 ・家族の事業所に対する要望や利用者に関する不安を伺う機会を増やし、想いに寄り添います。 ・快適な生活が送れるよう、設備環境について見直し・改善を行います。 <p>2. 地域の望む事業所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加・訪問ボランティア依頼を継続し、交流を図ると共に、事業所として地域に還元できることは何かを探り、貢献していきます。 ・認知症デイ利用者との交流会の継続と近隣施設間での交流もできるよう、関係づくりをすすめていきます。 <p>3. スタッフが臨む生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの目標達成のため、職場内研修の充実を図り、事業所職員としての知識を身につけ、技術の習得に努めます。 ・他施設見学や他部署での実習を計画し、自己評価を行い、質の向上に努めます。 ・働きやすい職場環境を作るため、職員間での面談の時間を設けます。 <p>4. 稼働率の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態の観察ポイントを習得し、早期発見・対応で、稼働率96%の維持に努めます。 ・入所判定会議を遅滞なくおこなえるよう、待機者の状況確認に努めます。 				

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	居宅介護支援事業			
作成者	部署名	ケアステーションハピネス五戸	役職名	リーダー
	氏名	境 秀明		
年度目標 テーマ	地域に根差し、地域を支える			
<p>定期の居宅ミーティングを通じ、研修会の伝達研修も行われ、困難事例もチームとして検討し対応できました。また利用者の入退院時には直ぐに訪問し、病院とも積極的に情報交換や意見交換し連携が図られています。今年度も引き続き専門性を高め、利用者が地域で安心して暮せるよう支援します。地域貢献では、理解を得られない地域もあり、準備に時間を要した事もありましたが、今年度は婦人会など各種団体にも働きかけ、新たな地域交流の場を更に開拓していきます。</p> <p>1 介護支援専門員の質の向上</p> <p>①週1回の居宅ミーティングを継続し、利用者の状況、制度や研修の伝達、困難事例等について検討・情報交換等行い、スタッフ全体で情報を共有し、チームで支援できるようにします。</p> <p>②専門職としての知識を深めるため、研修や勉強会に参加した制度や社会資源について個々に勉強し、発表の場を設ける事でさらに理解を深めるようにします。</p> <p>③同法人の居宅介護支援事業所との情報交換や勉強会を引き続き実施し、地域の状況やニーズを考える機会を持ち、相互の質の向上につなげます。</p> <p>2 関係機関との連携強化</p> <p>①医療との関係を強化するため、主治医や医療系のサービス事業所と連携を密にし、情報や意見交換を行い、状態把握と入院又は退院時の情報交換を行うとともに、状態変化に早急に対応していきます。</p> <p>②地域にあるインフォーマルのサービスを積極的に見出し、利用者のプランに活用する事で地域とのつながりを深め、住み慣れた地域での生活が継続できるようにします。</p> <p>③定期の地域ケア会議やケアマネ協議会の研修に参加し、地域の福祉事業所等と情報交換行い、地域のニーズを把握し支援に繋がります。</p> <p>3 地域貢献</p> <p>①地域住民の他にも婦人会など各種団体とのネットワークを新たに構築し、勉強会を開催し、介護についての知識や理解を広め、地域の福祉力向上に繋がります。</p> <p>②各地域の行事等に出向き参加する事で、幅広い年代層の地域住民と情報交換し、地域住民のニーズを把握して、より良いコミュニティづくりを働きかけます。</p>				



2013年度 居宅介護支援事業所ハピネス五戸 事業計画&予算案

		2013年度												計
ケアM人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	6.30人	
プラン件数	1~39	104	104	105	105	104	105	105	105	105	103	104	104	1,253
	40~59	105	105	105	105	105	105	105	104	104	106	106	106	1,261
	60~													
	介護支援													
	要介護1、2													
	要介護3、4、5													
予防支援	小計	209	209	210	210	209	210	210	209	209	209	210	210	2,514
	362単位	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	672
総プラン数 ※介護十(予防÷2)		237	237	238	238	237	238	238	237	237	237	238	238	2,850
初回加算	300単位	1	1	2	2	2	2	1	1	1	2	2	1	18
居宅介護支援費		2,405,000	2,405,000	2,415,000	2,415,000	2,405,000	2,415,000	2,415,000	2,402,000	2,402,000	2,408,000	2,418,000	2,418,000	28,923,000
介護予防支援費	362/月	202,720	202,720	202,720	202,720	202,720	202,720	202,720	202,720	202,720	202,720	202,720	202,720	2,432,640
初回加算費	300/月	3,000	3,000	6,000	6,000	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	6,000	6,000	3,000	54,000
特定事業所加算(I)	500/月													
特定事業所加算(II)	300/月	627,000	627,000	630,000	630,000	627,000	630,000	630,000	627,000	627,000	627,000	630,000	630,000	7,542,000
入院時情報連携加算(I)	200/月	3,000	3,000	3,000	6,000	6,000	6,000	3,000	3,000	6,000	6,000	3,000	3,000	51,000
入院時情報連携加算(II)	100/月													
退院・退所加算	300/月	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	33,000
認知症加算	150/月	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	1,260,000
独居高齢者加算	150/月													
収入合計		3,348,720	3,348,720	3,364,720	3,367,720	3,354,720	3,367,720	3,361,720	3,345,720	3,348,720	3,357,720	3,367,720	3,364,720	40,298,640

事業名	訪問介護			
作成者	部署名	ケアステーションハピネス五戸	役職名	リーダー
	氏名	佐々木 未央子		
年度目標 テーマ	利用者や家族との信頼関係を築いて在宅生活を支援していく			
<p>利用者の尊厳・基本的人権を尊重し、専門職としての自覚を持ち、利用者の生活スタイルに合わせ自立した日常生活を営む事ができるよう支援します。</p> <p>1 事業所内・外部研修に参加しスキルアップを図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケア会議を開催して利用者の持っているニーズの把握や問題等を早期に分析し、解決に向けて取り組んでいきます。 ・残存機能が低下しないよう、他事業所と連携し支援します。 ・統一したサービス提供を行う事ができるよう、マニュアルを見直し、迷うことなくサービス提供できるように努めます。 ・法人内・外の他事業所で実習や研修に参加して、介護技術のスキルアップを図ります。 ・スタッフミーティングを毎月開催し情報の共有を図り、利用者へよりよいケアを提供します。 ・法人内三事業所（ながわ、はちのへ、五戸）の合同ミーティングを継続し、事例検討・情報交換をしてサービスの向上を図ります。 <p>2 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議で関係機関との情報交換を行い、連携を強化していきます。 ・在宅での様子を関係機関へ情報提供し、より良いサービスに繋がります。 ・連絡ノートを活用し、家族・関係機関と密に情報交換を行います。 <p>3 稼働率の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他居宅介護支援事業所へ実績を持参し、コミュニケーションを図りアピールしていきます。（倉石地区の利用者増加を目指します。） ・当法人居宅介護支援事業所と情報交換を密にして、空き状況をお知らせし新規獲得に繋がっていきます。 ・地域貢献に参加し、介護技術の相談・助言を行っていきます。 ・ヘルパー便り年3回発行継続して、当事業所の取り組みや地域の情報発信します。 				

2013年度 訪問介護事業所 ハビネス 事業収支

単位:千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
ハビネス居宅ケアプラン数(介護)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
ハビネス居宅ケアプラン数(介護予防)	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
訪問介護利用者数(介護)	37	36	36	36	35	36	36	37	36	37	37	37	437
訪問介護利用者数(介護予防)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
サービス提供責任者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24件
常勤ヘルパー数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60件
登録ヘルパー実働数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24人
サ-ビス提供責任者-人あたり	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720
常勤ヘルパー-人あたり	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	4800
登録ヘルパー-人あたり	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
総時間数	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	6000
訪問介護(身体)~30未満	762	762	762	762	736	744	889	889	736	736	744	762	9284
訪問介護(身体)~30未満夜朝	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159	159	1908
訪問介護(身体)30~1h	326	326	326	326	265	265	301	301	265	265	265	326	3496
訪問介護(身体)30~1h夜朝	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
訪問介護(身1 2人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
訪問介護(身体1生1)	129	129	129	129	29	29	29	29	29	29	29	29	648
訪問介護(生活援助2)~45分未満	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	888
訪問介護(生活援助3)~45分以上	251	251	251	251	251	251	251	251	251	251	251	251	3012
介護予防(I)月	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
介護予防(II)月	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	1752
介護予防(III)月	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	924
特定事業所加算(I) 加算													0
特定事業所加算(II) 加算	197	197	197	181	178	179	197	197	178	178	179	187	2245
特定事業所加算(III) 加算													0
初回加算	1	1			1					1	2		6
介護予防初回加算								1					1
緊急時訪問介護加算									1				1
合計	2170	2170	2170	1993	1964	1973	2172	2172	1964	1964	1973	2060	24745

収 入

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	訪問入浴			
作成者	部署名	訪問入浴ハピネス五戸	役職名	リーダー
	氏名	三浦 千賀子		
年度目標 テーマ	地域のニーズに合わせたケア・サポート			
<p>ここ数年、退院後在宅生活を希望する看取りの方の利用依頼が増えています。状態が不安定な方からの急な利用依頼にも可能な限り対応しています。</p> <p>こういった様々な地域のニーズに合わせ、一回・一回のサービスを大事にし、利用者・家族共にリフレッシュできるような、まごころのこもったケア・サポートを継続していきます。</p> <p>1, 心のサポート 利用者・家族との会話を大切にし、自宅での生活継続に不安や疑問があれば相談・助言し、取り除いていけるようサポートしていきます。</p> <p>2, ニーズへの迅速対応 短期間の利用や急な利用、また医療処置が必要な方の清拭など様々な利用依頼に迅速に対応できるよう体制を整えます。 その体制の取り組みを盛り込んだ訪問入浴サービスのパンフレットを作成します。</p> <p>3, 新しい取り組み 「家族が仕事から戻ってからの夕方の訪問入浴」などの今まで対応していなかった事等、地域からのニーズがあれば、積極的に検討していきます。</p>				

事業名	通所介護			
作成者	部署名	ハピネス五戸	役職名	リーダー
	氏名	三浦 千賀子		
年度目標 テーマ	自立を引き出す環境整備			
<p>ハピネス五戸特養のユニット化に伴い、通所サービスが広く使える事になります。与えられた空間を有効に活用し、介護予防と要介護利用者を住み分けてサービスを提供します。プライバシーに配慮し、自由な時間をゆとりのあるスペースで過ごすことができるよう環境を整えていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1日平均31名 平均介護度2.7を目指します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 利用者獲得のために、他居宅事業所に常にPRします。 2 介護予防利用者は、自立の可能性を最大限に引き出す支援を行います。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生活機能向上グループ活動を、衣食住の日常生活に直結した活動を充実させる為、物品や空間を増やします。 (2) 入浴の待ち時間などに、自由に選択できる場所を設置します。手工芸や読書が出来る空間や、利用者同志、娯楽で遊べる空間を設け楽しみも充実していきます。 (3) 昼食の主食や、味噌汁も一人でよそう事で好きな量を食べる事が出来たり、お茶も自分で入れて飲める工夫を行います。 3 要介護利用者は、家族の介護負担の軽減に協力する為、重度の利用者の受け入れを増やします。空の時間を活用できるように、介護予防と同様の空間を設けます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) ベット数を増やし、重度の方の空間を確保し、プライバシーを確保する為、一人一人パーテーションを設置し、安心して過ごせるよう環境を整えます。 (2) 機能訓練の機器や物品をひとつの場所にまとめ、訓練コーナーを作ります。 (3) 一人で落ち着いてTVを見られる場所や、楽しみにも目を向けて空間を設け、ゆとり過ごせる場所作りも検討します。 4 介護予防利用者、要介護利用者との住み分けを行います。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 年度初めに、介護予防利用者の一日の時間割を検討し、要介護者と異なる時間と、別な空間で業務を円滑にすすめる為、内部研修をひらき、全員で業務を作り上げていきます。決定後は、新たなパンフレットを作成し配布します。 5 学習療法を継続します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 家族や利用者へ取組みを広げる為、内容をまとめ、お知らせを配布します。 6 地域や関係機関と連携を図り、協力を継続します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 昨年に続き、実習生の受け入れを行います。 (2) 習字やピアノを活用できるボランティアの受け入れを検討します。 				

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	認知症対応型通所介護			
作成者	部署名	ハピネス五戸	役職名	リーダー
	氏名	三浦 千賀子		
年度目標 テーマ	スタッフの資質向上を目指して			
<p>一般型との住み分けも定着し、家庭的な環境の中、同じスタッフで対応し行動障害も以前に比べ少なくなりました。その中で、個々の症状に合わせた対応を検討し取り組みます。</p> <p>1 利用者獲得に向けて活動を続け、1日平均9名 平均介護度3.2を目指します。</p> <p>(1) 認知症状が重度になると、家族の介護の負担が増し在宅生活が難しくなっています。施設入所はやむを得ない状況となり、利用者が減ってくる為、地域住民へサービスの取り組みを理解してもらう為、自治体への協力を続け、他事業所のケアマネにも働きかけていきます。</p> <p>2 スタッフの資質向上を目指し、家族や担当ケアマネに助言が出来るようにすすめます。</p> <p>(1) 利用者の担当制をとり、利用中の症状やその時のスタッフの対応をまとめ3か月に1回以上ケア会議で介護計画の評価を行います。</p> <p>(2) ケア会議と同時に勉強会も開催し、近年の認知症について勉強します。</p> <p>(3) 外部・内部研修に積極的に参加し伝達研修を行い、スタッフ全員で勉強できるようにすすめます。</p> <p>3 学習療法を継続します。</p> <p>(1) 昨年度は参加者がなかった為、昨年の取組みの様子・利用者の変化・状況をまとめ家族に配布しPRを行います。</p>				

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	通所介護			
作成者	部署名	コスモス	役職名	リーダー
	氏名	小泉 友江		
年度目標 テーマ	地域（在宅）で暮らす喜びを支援します			
<p>コスモスで仲間になった者同士、皆元気に休まずコスモスへ来たいという思いに応えられるよう、少しでも長く楽しく地域（在宅）での生活が継続出来るよう取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>またコスモス感謝祭を継続する事により、上市川婦人会をはじめ地域の新たな方と交流を図る事が出来ています。これまで把握した地域の情報を基に、川内地区にある唯一の施設という事をスタッフ皆で再認識し活動していきます。スタッフの事やサービス内容について知って頂き、安心して利用して頂けるよう努めていきます。</p> <p>1. 1日平均26人（個人契約含）、平均介護度2.4を目標とし活動していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問を継続し、当事業所を理解して頂くとともに支援が必要な方にスムーズにサービス提供出来るようにしていきます。 ・コスモス便りを活用し地域の各学校、商店、周辺の居宅事業所等へコスモスの紹介をしていきます。 ・福祉保険課との相談を継続し、身体障害者を受け入れしていきます。 <p>2. 生活意欲の向上と快適に過ごして頂く為、入浴や行事、環境を見直します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節感ある風呂等で入浴の楽しみを工夫します。 ・行事がマンネリにならないよう内容を創意工夫します。 ・おもてなしの気持ちを忘れず、フロア毎に掃除を分担し環境整備に取り組みます。 <p>3. 家族、地域との関わりを工夫します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスモス便りはなるべく家族へ手渡し、対話に努め情報交換していきます。 ・地域の商店や家族と協同する等、コスモス感謝祭のあり方を見直します。 ・提供して下さる食材は手作りおやつ等で還元します。 ・ボランティアを受け入れしていきます。 ・自治会活動に協力します。 ・さらに施設の外へ目を向け、地域の情報をキャッチしていきます。情報は一覧表にまとめ行事等に活用していきます。 				

4. 学習療法を活用し支援していきます。
 - ・ ケース検討を行い個別ケアに努めます。
 - ・ 利用者、家族、地域へ学習療法の紹介をしていきます。

5. 利用者本位を忘れずにチーム支援をしていきます。
 - ・ ケアの根拠を理解し誇れるサービスが出来るよう、スタッフ間で伝達、確認し合うよう努めます。優先順位を整理しながら業務にあたります。
 - ・ 資格獲得や研修参加にてスキルアップし、より良いサービスが提供できるようにします。

事業名	通所介護			
作成者	部署名	ルピナス	役職名	リーダー
	氏名	村田 智子		
年度目標 テーマ	地域と共に楽しく暮らす			
<p>新規の利用者も含め、要介護の認定を受ける利用者が増えてきています。また、個人契約で利用されていた方も介護予防の認定を受けたり、申請はしていないものの見守りが必要な方もいます。今年度は、心身の状態に関わらず利用者が安心して在宅生活が続けられるよう生きがいや楽しみをもった生活が出来るよう支援していきます。また、地区の小学校が合併の為今年度で閉校となり、地域への交流が減ることから地域との関わりを大切にしていきたいと思えます。</p> <p>1 稼働率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日平均21名(個人契約含)、平均介護度2.1を継続目標とし活動していきます。 ・利用者獲得の為各居宅介護支援事業所へ足を運び、情報交換や施設のPRを継続し、関わりを維持できるようにします。 ・サービス提供困難者へも柔軟に対応できる体制を継続します。 <p>2 利用者の受容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査を行ない、個人が求めるニーズを把握し余暇活動の充実を図ります。 ・介護予防利用者のグループ活動として、個々の自宅での生活と連結できるような日常生活プログラムを取り入れた多様な支援に取り組みます。 ・学習療法では、学習者の意欲も高く楽しみとなっています。また、興味がある利用者も見受けられるため、より多くの方が学習できるように支援体制を整えます。 <p>3 職員のスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内・外の研修や、勉強会に積極的に参加し知識の向上に努めます。 ・毎日のミーティングを通して情報交換を密にし、一つのチームとして共通認識が図れるようチームワークの強化に取り組みます。 <p>4 地域貢献・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉施設として、地域住民との交流の機会を持ち無料開放などを通して地域の方が気軽に足を運び相談できる施設としての活動に取り組みます。 ・ルピナス広報誌を活用し地域へのPR活動を図ります。 ・地区の小学校との交流会を継続し、親交を深めます。 				

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	五戸町委託事業			
作成者	部署名	ハピネス五戸	役職名	在宅マネージャー
	氏名	石田 律子		
年度目標 テーマ	自宅での生活を支援する			
<p>各事業を行う事で地域の高齢者の状況を把握し、支援の必要な高齢者には関係機関と連携を取り支援に繋げ自宅での生活が継続できるよう支援し、五戸町からの信頼に応えるよう努めます。</p> <p>1 訪問事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五戸町から依頼があった対象者の状況を訪問により把握し、報告するとともに必要時には地域包括支援センターと連携し、関係機関に繋がります。 ・担当地域の高齢者や家族・福祉関係者からの介護予防および在宅介護の相談にも助言等を行い、地域包括支援センターと協働で関係機関に繋がります。 <p>担当地域 ①上大町、新町、荒町を除く旧町内 ②川内地区 ③浅田地区 ④豊間内地区</p> <p>2 実態把握調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五戸町からの依頼により概ね65歳以上の独居、または夫婦世帯の住民を対象に訪問し、示された項目に基づき実態把握をするとともに、介護予防等の必要性の評価を行います。 <p>3 総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話や来所による面接等、地域の高齢者の介護予防および在宅介護に関する各種の相談に総合的に対応し、必要な機関に繋げ地域の高齢者が安心した生活が送れるよう支援します。 <p>4 転倒骨折予防教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域型の教室を中心に、地域住民が積極的・継続的に参加できる介護予防体操やアクティビティを実施する場を提供することで、介護予防の必要性を促して行きます。 <p>①地域型 (年間 計48回)</p> <p>旧町内、上市川地区、浅田地区、豊間内地区において毎月1回、開催します。</p> <p>屋外行事を実施し、楽しみを持ち介護予防に取り組む事ができるよう支援します。</p>				

②自治会型（年間 計24回）

五戸町内の現在実施している各地区で年間を通して開催するとともに、必要な地区の新規開拓に向けて実施回数の調整を図ります。

5 配食サービス

・五戸町内の一人暮らしまたは夫婦世帯の高齢者に対して、食事の提供をする事により日常生活の自立を促すとともに見守りを行い、地域で安心して生活出来るよう支援します。

①開始時と年数回、面談により利用者の食生活の状況を把握し、配食サービスの質の向上に繋がります。

②安否確認と身体状況に合わせた食事の提供がされる事で、自宅での生活が継続できるよう支援します。

2013 ハピネス五戸事業計画

事業名	事務			
作成者	部署名	ハピネス五戸	役職名	事務マネージャー
	氏名	石渡 敦志		
年度目標 テーマ	新生「ハピネス五戸」へステップアップ			
<p>ハピネス五戸はユニット型特養への増改築に伴い、大きな変革の時に入ります。この歴史的な時を入居者、家族、地域、職員と共に笑顔で迎えられるよう、強力な支援体制の構築を図ります。信頼と活気のある事務を目指していきます。</p> <p>1. 人事管理計画 ユニット化に向けた職員配置への転換と有資格者や法令を遵守した人員配置を考慮しながら適正な人件費率と人事管理に努めます。 入退職者について、いつでも誰でもスムーズに対応できるよう職員間での連携を継続していきます。</p> <p>2. 職員募集計画と活動方針 ハローワークを中心に活動し、助成金を活用していきます。</p> <p>3. 防災訓練等実施計画、地域や消防行政等の連携 防火管理者を中心に災害協力隊や消防署を交えた訓練を定期的実施していきます。災害時にはスムーズに対応できるような支援体制の構築も図っていきます。</p> <p>4. 建物管理、修繕計画 ハピネス五戸はユニット化増改築のため適切な使用方法の継続と無駄なく大事な使用を周知していきます。コスモス・ルピナスは大きな修繕になる前の早期発見、早期対応に努めます。</p> <p>5. 当直管理 確実な当直業務の遂行と夜間の急なトラブル、災害時に素早く対応できるよう体制を整えます。 スムーズな当直業務ができるように夜勤者と情報を共有していきます。</p> <p>6. 検査、各種役所申請等 各種規程や体制等の変更時は速やかに対応していきます。</p>				

7. 業者対応への取組み・消耗品管理

新規業者の参入も受け入れ、業者を固定することなく対応していきます。経費削減を常に考慮し、さまざまな情報を取り入れた選択を行っていきます。

消耗品も在庫数や消費量を定期的に把握し、各事業所でも消費数を把握できるような体制を整えます。

8. 会計全般・予算管理

常に新しい経営状況が把握できるように毎日の業務をその日で完結させ、收支細かな部分からの管理に努めていきます。また、各事業所へも予算管理の情報を提供できるシステムを構築し、経理規程に添った正確な管理で業務を進めていきます。

9. フロント業務の向上への取組み

月1回の施設内点検を継続し汚れ、破損、危険がないかを確認していきます。玄関周りの整備を行い、気持ちよく来園されるような対応を心がけていきます。来客対応など、笑顔を忘れずにスムーズな対応を行っていきます。

10. 環境整備計画

法定点検など、計画的に実施していきます。敷地内の植木などの手入れも行いきれいな外観を目指します。

11. 掲示物管理

掲示物には掲示期間、掲示責任者を明確にし、常に最新のもの更新し職員へ情報を発信していきます。

12. 学習療法

学習療法の取組みをさらに進化させるため各事業所と連携を図り事業を深めていけるよう、調整していきます。事業所のPR活動にも積極的に支援していきます。

〔防災計画〕

各部署担当者との連携を密にし、訓練計画立案等にも参加して行きます。また、職員一人ひとりの防災意識を高めていくため、防火管理者の増員を図ります。

また、火災だけでなく地震等の場合にも、スムーズに対応できるよう停電時や断水時の行政との対応も含め、マニュアルの整備・見直しをすすめていきます。

1. 行動計画

実施月	訓練内容
4月	災害協力隊夜間想定合同避難訓練 災害協力隊総会・懇談会
6月	避難訓練マニュアル見直し、避難経路等確認 (各部署担当者合同)
8月	夜間想定避難訓練
9月	消防設備点検
10月	災害協力隊夜間想定合同避難訓練 (消防合同)
12月	自然災害防災について勉強会、避難経路確認 (ホームリーダー、各部署担当者合同)
2月	自然災害想定日中想定避難訓練
3月	消防設備点検

2. 担当者

防火管理者	ハピネス五戸	コスモス	ルピナス
	各担当者	<ホーム> <G H> <デ イ>	

- ・ 担当者は防火管理者を補佐する。
- ・ 担当者はそれぞれの訓練日程・避難経路の確保等、リーダーと相談し円滑にすすめていく。

〔各種会議〕

	会議名		開催日	出席対象者	目的
①	職員会議		3ヶ月1回	全職員	・全職員共通認識の構築
②	リーダー会議		月1回	施設長 マネージャー 各リーダー	・運営の確認・予算管理
③	入所系 部署会議	ホーム会議	月1回	ホーム全職員	・サービスの内容等確認 ・事業戦略
		給食会議	3ヶ月1回	栄養士 厨房全職員	
		グループホーム会議	月1回	グループホーム全職員	
④	在宅系連携会議		3ヶ月に1回	各通所リーダー 訪問介護リーダー 居宅リーダー 訪問入浴 委託事業	
⑤	事業所毎会議		1~2ヶ月に1回	全職員	・業務の課題検討 ・入所者・利用者の情報の共有 ・事業計画の進捗状況 その他目的サービスの向上について
⑥	通所3事業所合同会議		年1回以上	通所全職員	・事例検討 ・グループワーク ・発表の場を設ける

2013年度【 各種会議 】施設月別年間スケジュール表												
	2013上半期						2013下半期					
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		第3四半期		第4四半期	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員会議	4月10日			7月17日			10月9日			1月22日		
リーダー会議	4月17日	5月15日	6月12日	7月10日	8月14日	9月11日	10月16日	11月13日	12月11日	1月15日	2月13日	3月13日
入所系部署 会議	ホーム会議											
	G H	運営推進会議		運営推進会議		運営推進会議		運営推進会議 (交流会)		運営推進会議		運営推進会議
	給食会議											
	厨房ミーティング											
在宅系連携会議		5月22日			8月21日				11月20日		2月20日	
事業所毎会議												
委員会	居室											
	事故防止 感染症等 褥瘡 権利擁護 看取り 医療連携 他各委員会 研修											

2013 年度 委員会

【 行 事 】

夏祭り 7月 28日 (日)	主担当 副
産業と文化祭り 11月 2日 (土) ~ 4日 (月)	主担当 副
地域貢献事業 11月 17日 (日)	

【 委員会 】

委員会名	役 割	入所系	在宅系
事故防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護事故の発生の防止及び再発の防止を検討する。 ・ 分析や対応策の検討実施、評価、報告書及び経過の記録 等 	◎	各事業所で
感染症・食中毒の予防およびまん延防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症及び食中毒の予防およびまん延の防止のための対策を検討する。 	◎	各事業所で
学習療法委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい知識取得のための研修会。 ・ 各事業所への普及活動。 		
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体研修の企画 (外部講師の依頼等) ・ 年 1 回以上 ・ 救急救命講習 		
上記委員会については五戸地区全体コーディネーターとして(コーディネーター委員)を置く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各書式雛型の見直し ・ 報告書等の管理及び周知 ・ 必要時の委員会への出席、開催の促し 		

【 委員会（特別養護老人ホーム） 】

委員会名	役 割	委 員
じょくそう防止 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・じょくそう発生の予防 ・介護職員等への継続的な助言、研修等 	
権利擁護委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止に向けての取り組みと評価 ・虐待防止 ・職員への研修会等 	
看取り委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り介護の体制作り ・個人に合わせた終末期ケアの検討 ・家族へのフォロー等、看取りに関する研修企画 	
口腔リハビリ委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の、摂食・嚥下機能評価を元に個人に合った口腔リハビリについて検討 ・口腔リハビリに関する研修企画 	
排せつ委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な生活に向けて（プライバシーって何？） ・人権について考える ・個人に合った排せつ方法の検討 	
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域へ、様々な情報の提供 ・特養としての広報誌の作成 	
行事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・特養の行事に係るコーディネーター ・計画書・報告書の提出確認 等 	

2013ハビネス五戸事業計画

		2013年度【 行事計画 】																							
		2013.上半期						2013.下半期																	
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		第3四半期		第4四半期													
4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
全体			ごみゼロ運動			ハビネス夏祭り											五戸町産業と文化祭り 地域貢献事業								
特ハビ + ハビSS			4・5月誕生会			6・7月誕生会 夏祭り 七夕交流会		五戸祭り見学 剣吉祭り		8・9月誕生会 五戸敬老会		大運動会 慰問		10・11月誕生会		クリスマス会 忘年会		クリスマス会 忘年会 新年会 合同餅つき会		11月誕生会 新年会		2月誕生会 新年会		2・3月誕生会 餅祭り	
GHハビ			誕生者3名		親睦会ハーベキュー 梅祭り	田の草とり踊り 夏祭り(全体) 個別シヨッピング		ピアガーデン(家族会) 誕生者1名		五戸祭り見学 親睦会(ホーム会) 個別シヨッピング		紅葉ドライブ 収穫祭(ダイオまわり)		産業と文化祭り 個別シヨッピング		クリスマス会 忘年会(ホーム会) 誕生者2名		新年会 もつたまき会(ホーム会) 個別シヨッピング		新年会 誕生者1名		個別誕生会 誕生者2名		餅祭り 誕生者2名	
デイハビ			畑作り		シヨッピング	海ドライブ		夏祭り		五戸祭り見学		紅葉ドライブ		シヨッピング 産業と文化祭り		クリスマス会忘年会		小正月 お楽しみ会		小正月 お楽しみ会		個別誕生会 誕生者2名		座談会	
通所(認知)			お花見会		遠足 母の日(手芸花作り)	海ドライブ		夏祭り ハーベキュー-昼外食		五戸祭り見学		ドライブ		シヨッピング 産業と文化祭り		クリスマス会忘年会 クリスマス会ケーキ作り		小正月 お楽しみ会		小正月 お楽しみ会		個別誕生会 誕生者2名		手作り料理教室	
テイコス			町の日 イオン下田シヨッピング 花・野菜補え		町の日 あぐりの里イチョゴ祭り 避難訓練 園内販売	七夕会 町の日 かつは菊町と海ドライブ		町の日 夏祭り 五戸祭り見学 ルビナス梅祭り いせいき野麻村シヨッピング		町の日 敬老会 園内販売		曜日対心運動会 タリア園観光 十和田湖ドライブ		産業と文化祭り 焼き芋会 避難訓練 外部余興		園内販売 クリスマス忘年会		餅つき会 3通所合同新年会 初詣		餅つき会 3通所合同新年会 初詣		個別誕生会 誕生者1名		餅祭り 園内販売 外部余興	
デイルビ			花見ドライブ 畑づくり		うめ祭り 無料施設体験 園内販売	避難訓練 七夕交流会		夏祭り よこまちシヨッピング		五戸祭り見学 浅水まつり見学		紅葉フオライブ 南小学校訪問 避難訓練		クリスマスツリー作り 無料施設体験 南小学校交流会		クリスマス会忘年会		3通所合同新年会		3通所合同新年会		個別誕生会 園内販売 豊間内小学校交流会		餅祭り	
居宅ハビ			事業計画について詳細説明		研修・勉強会					研修・勉強会															

2013 ハビネス五戸事業計画

2013年度【 研修会 】											
2013上半期				2013下半期							
第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体研修委員		・外部講師による研修							・外部講師による研修		
特・ヒビ田SSS	・居室担当の心構え ・排泄介助について (プライバシー含む) ・急変時の対応 ・酸素レベルの取り扱い ・薬の服用手順	・施設サービス計画書とは ・SSの入退所について ・家族会、自治会について ・バイタルサインとは	・事故防止とは ・移乗介助について ・看取りについて	・記録とは ・褥瘡について	・身体拘束について ・個別ケアとは	・家族との関わりについて ・感染症について	・認知症について	・看取りについて	・食事解除について ・状態観察のポイント		
GHハビ	・法令順守 ・緊急時の対応	・プライバシー保護	・災害時の対応	・食中毒勉強会	・認知症ケア	・身体拘束	・各職員主催の広運研修				
デイハビ	・介護計画について評価 ・急変時の対応	・業務改善の話し合い ・ケア検討会議	・記録について	・業務改善の話し合い ・ケア検討会議	・業務改善の話し合い	・感染症について (インフルエンザ、ノロウイルス) ・業務改善の話し合い	・冬の安全運転について ・ケア検討会議	・行動履歴の対応の事例検討	・業務改善の検討会		・事業報告について ・ケア検討会議
デイコス	・急変時の対応	・処遇について		・連携について							
チイルビ	・今年度の事業計画について ・急変時の対応	・連携について	・食中毒について		・介護計画について	・感染症について (インフルエンザ、ノロウイルス)	・入浴に伴う危険について	・介助時の服装等について	・業務改善について		
居宅ハビ	・事業計画について詳細検討	・研修、勉強会 (八戸地域介護支援研修)	・研修、勉強会 (食中毒)	・研修、勉強会 (「五戸地域介護支援研修」)	・研修、勉強会	・産業と文化祭り ・研修、勉強会 (認定講義体系事業責任研修)	・介護福祉士実習 指導者研修	・地域貢献 (介護保険説明会等) ・研修、勉強会 (「五戸地域介護支援研修」)	・地域貢献 (介護保険説明会等)	・地域貢献 (介護保険説明会等)	
訪問介護	・接遇	・移乗・移動介助	・食中毒	・脱水症状と対策	・着脱・排泄	・記録	・口腔ケア	・インフルエンザ	・ノロウイルス	・認知症	・緊急時の対応
外部研修		・認定調査現任研修 ・学習療法シンポジウム	・ヘルパー部会 ・GH協会総会	・防火管理者研修 ・食中毒勉強会(外部)		・認知用実務者研修 ・トータルケア研修(経営協)	・介護福祉士実習 指導者研修	・ヘルパー部会			

※上記研修の他、「ファミリー研修プログラム」による階層別研修を実施します。